

2015年4月22日

**電通、タイムアウト東京と共同で『タイムアウト東京マガジン』の中国語版を創刊
— 激増する訪日中国人向けに特化したメディアとして年に2回発行 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直、以下「電通」）は、タイムアウト東京株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：伏谷 博之、以下「タイムアウト東京」）と共同で、同社が発行するフリーマガジン『Time Out Tokyo Magazine』（タイムアウト東京マガジン）の中国語版を2015年6月に創刊いたします。

タイムアウト東京は、ロンドンを本拠地に世界37カ国85都市で展開されているシティガイド「Time Out」東京版として、英語版マガジンをはじめ、ガイドブック、ウェブサイト、アプリなどを運営しています。「Time Out」は2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは公式トラベルガイドとして採用されるなど、1968年の創刊以来グローバルにブランド力のあるシティガイドとして知られています。

今回、電通とタイムアウト東京が共同で発行する中国語版は、2014年以降の訪日中国人の激増を背景に、訪日中国人向けに特化したメディアとして年2回発行していきます。

配布場所は、空港、観光案内所、地下鉄主要駅、ショップ、カフェ、レストラン、ホテルに加え、訪日前の現地空港なども想定しており、10万部の発行（繁体字5万部、簡体字5万部）を予定しています。マガジンの体裁はA4変形／84ページとなります。

創刊号は、シティガイドとしての役割に加え、東京での購買を喚起する「Tokyo Shopping Guide」としての役割を担えるメディアを目指します。週末に買い物目的で中国から東京を訪れる個人旅行客のニーズに合わせて、旬な商品情報・東京情報を先取りし、一冊で買うべきもの、行くべき場所をガイドできるものにする予定です。

中国で発行している『タイムアウト上海』『タイムアウト北京』『タイムアウト香港』で築いたマガジンへの期待やブランド力を有効に活用し、相乗効果を生み出すことで、訪日中国人向けに特化したソリューションを展開していきます。

今後も両社は、新しいメディアやソリューションの開発・提供を通じて、インバウンド市場の拡大に対応してまいります。

<タイムアウト東京の会社概要>

会社名 : タイムアウト東京株式会社 (英語表記 : Time Out Tokyo Inc.)

<http://www.timeout.jp/ja/tokyo>

所在地 : 東京都渋谷区広尾 5-9-9 プレステージュ広尾 101

代表者 : 伏谷 博之 (代表取締役)

設立日 : 2009年7月31日

事業内容 : インターネットメディアの運営や出版事業などを展開

以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部

長澤、溪 TEL : 03-6216-8041